

信州大学大学院総合理工学研究科修士課程

平成 30 年度 4 月入学
学 生 募 集 要 項

工学専攻[A 日程]

推薦特別選抜 (大学学部生対象・高専専攻科生対象)

一 般 選 抜



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

長野(工学)キャンパス

平成 30 年度 4 月入学 信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程) 工学専攻

入 学 者 選 抜 日 程 の 概 要

[長野 (工学) キャンパス]

試験日程	【A 日程】	
入学選抜区分	推薦特別選抜 「大学学部生対象」 「高専専攻科生対象」	一般選抜
実施分野名	全分野	
	↓	
	希望する指導教員へ相談 (出願時まで)	
(該当者のみ) 入学資格審査申請書類 受付期間	平成 29 年 5 月 22 日(月) ～ 5 月 25 日(木)17時(必着)	
	↓	
(該当者のみ) 入学資格審査結果 通知期日	平成 29 年 6 月 2 日(金)	
	↓	
出願期間	平成 29 年 6 月 12 日(月) ～ 6 月 16 日(金) 17時(必着)	
	↓	
試験日	平成 29 年 7 月 1 日 (土)	
	↓	
合格発表	平成 29 年 7 月 11 日(火)16 時	
	↓	
入学確約書提出期限	平成 29 年 9 月 8 日(金) 17 時(必着)	
	↓	
入学手続期間	平成 30 年 3 月 1 日(木) ～ 3 月 9 日(金) 17 時(必着)	

目次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	3
総合理工学研究科の専攻について	4
提出書類一覧	5
1 募集人員	6
2 出願資格	6
2-1 推薦特別選抜(大学学部生対象)	6
2-2 推薦特別選抜(高専専攻科生対象)	6
2-3 一般選抜(平成 30 年 4 月入学)	7
3 入学資格審査(一般選抜対象者のみ)	7
4 出願手続	9
5 出願までの手順	9
6 出願書類等	10
7 選抜方法・配点	14
7-1 推薦特別選抜(大学学部生対象)	14
7-2 推薦特別選抜(高専専攻科生対象)	15
7-3 一般選抜(平成 30 年 4 月入学)	16
8 合格者発表	18
9 入学確約書の提出	18
10 入学手続及び納付金	18
11 長期履修制度(社会人学生対象)	19
12 障害等のある方の事前相談	19
13 その他	20

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【信州大学大学院】

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学大学院は、総合大学の特色を生かし、国の活力を高める次世代を担う卓越した人材や世界的な視点で新たな価値を創造する質の高いグローバルな高度専門職業人の養成を目指しています。そのため、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・ 深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・ 社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・ 職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各研究科の特性に応じた公正かつ適切な方法で入試を実施し、大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的に評価します

【総合理工学研究科】

総合理工学研究科では、総合理工学研究科の基本理念・教育目標に基づき、次のような能力や意欲を備えた人を積極的に受け入れます。

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲をもって取り組む人
3. 世界をリードする先進的科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を目指す人

【工学専攻】

工学専攻では、総合理工学研究科および工学専攻の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に積極的に取り組む人
2. 世界をリードする科学・技術を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
3. 大学等において能動的に学び、一般教養及び専門分野の基礎学力を身に付けている人

総合理工学研究科の専攻について

本研究科は、次の専攻から構成されています。

専攻名	お問い合わせ先
<理学専攻> 数学分野 理学分野	〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学理学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0263-37-2458
<工学専攻> 物質化学分野 電子情報システム工学分野 水環境・土木工学分野 機械システム工学分野 建築学分野	〒380-8553 長野市若里4-17-1 信州大学工学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 026-269-5056
<繊維学専攻> 先進繊維・感性工学分野 機械・ロボット学分野 化学・材料分野 応用生物科学分野	〒386-8567 上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0268-21-5304
<農学専攻> 先端生命科学分野 食品生命科学分野 生物資源科学分野 環境共生学分野	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0265-77-1310
<生命医工学専攻> 生命工学分野 生命医工学分野	〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学学務部学務課内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0263-37-2863

* 本募集要項は、工学専攻について記載しています。他の専攻については、表中の「お問い合わせ先」に問い合わせください。

提出書類一覧

記入方法を「3 入学資格審査」,「6 出願書類等」で確認し,必要な書類を提出してください。下記表の★印のついた書類は,本専攻ホームページから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードし,使用してください。

工学専攻(工学部)ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html>

●:全員提出,「該当者」:該当者のみ提出

項目	推薦		一般選抜	提出書類 (★印:工学専攻指定の様式あり)	記入方法 参照先
	大学学部生	高専専攻科生			
入学資格審査書類	—	—	該当者	★ a 入学資格審査調書	3 入学資格審査
				b 学習,活動,実務経験等の経歴書	
				c 卒業(又は修了)証明書及び成績証明書	
				d 返信用封筒(入学資格審査結果送付用) 〈返信先を記入し 82 円切手を貼付〉	
出願書類	●	●	●	★ ① 入学志願票	6 出願書類等
	●	●	●	★ ② 受験票	
	●	●	●	★ ③ 履歴書	
	●	●	●	★ ④ 志望理由書	
	該当者	該当者	該当者	⑤ 出願資格を証明する書類(原本) 〈信州大学工学部在籍生・卒業生,入学資格審査を受けた方は不要〉	
	該当者	該当者	該当者	⑥ 成績証明書 〈信州大学工学部在籍生・卒業生,入学資格審査を受けた方は不要〉	
	●	●	●	★ ⑦ 入学検定料納付確認書(A 票)	
	●	●	●	★ ⑧ 受験票返送用封筒ラベル 92 円切手(各自用意) 〈長形 3 号封筒にラベルを貼り 92 円切手を貼付〉	
	●	●	●	★ ⑨ あて名票(合格通知書・入学手続書類等送付用)	
	●	●	●	★ ⑩ 出願用宛名用紙 出願用封筒:角型 2 号(各自用意) 〈角型 2 号封筒に出願用宛名用紙を貼る〉	
	該当者	該当者	該当者	⑪ 「住民票」住民票がない方は「パスポートの写し」 〈日本国籍を有しない方〉	
	●	●	—	★ ⑫ 推薦書	
	—	—	—	★ ⑬ 業務業績報告書	
	—	—	—	★ ⑭ 履修計画書	
試験当日持参	—	—	●	TOEIC 公開テスト(平成 28 年 7 月以前実施),TOEIC Listening & Reading Test(平成 28 年 8 月以降実施),TOEIC-IP スコアレポート,TOEFL-iBT のスコアシートのいずれか 〈試験当日,原本と原本の写し(コピー)をお持ちください〉 ※平成 26 年 4 月以降に実施したスコアシートを提出ください。	7-1(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア 評価方法

信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程) 平成 30 年 4 月入学

推薦特別選抜（大学学部生対象・高専専攻科生対象）・一般選抜

1 募集人員

実施分野	選抜区分	募集人員
物質化学分野 電子情報システム分野 水環境・土木工学分野 機械システム工学分野 建築学分野	推薦特別選抜(大学学部生対象) 推薦特別選抜(高専専攻科生対象) 一般選抜	240名 分野・選抜ごとの区分はありません

※同じ日程で実施される選抜試験を併願することはできません。

2 出願資格

2-1 推薦特別選抜（大学学部生対象）

推薦特別選抜（大学学部生対象）

次の各号の**すべて**に該当する方とします。

- (1) 日本の大学(修業年限4年以上)を平成 30 年 3 月に卒業見込みの方
- (2) 学業成績、人物ともに優秀で、在籍している大学の学部長又は学科長が推薦する方
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、出願にあたっては、出願者が事前に希望する指導教員と必ず連絡を取り、本学入学後の研究計画等について十分に相談の上、出願書類を提出してください。

2-2 推薦特別選抜（高専専攻科生対象）

推薦特別選抜（高専専攻科生対象）

次の各号の**すべて**に該当する方とします。

- (1) 平成 30 年 3 月に高等専門学校専攻科を修了見込みの方のうち、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与される見込みの方
- (2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する方
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、出願にあたっては、出願者が事前に希望する指導教員と必ず連絡を取り、本学入学後の研究計画等について十分に相談の上、出願書類を提出してください。

2-3 一般選抜(平成 30 年 4 月入学)

一般選抜

次の各号のいずれかに該当する方とします。

(1) 大学（修業年限 4 年以上）を卒業した方又は平成 30 年 3 月までに卒業見込みの方
(2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された方又は平成 30 年 3 月までに授与される見込みの方
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの方
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの方
(5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの方
(6) 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの方
(7) 旧制学校等を修了した方（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 1 号～第 4 号，昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号）
(8) 防衛大学校，海上保安大学校，気象大学校など，各省大学校を修了した方又は平成 30 年 3 月までに修了見込みの方（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 5 号～第 12 号，昭和 30 年文部省告示第 39 号第 2 号）
(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方で、平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する方

3 入学資格審査（一般選抜対象者のみ）

(1) 提出書類

一般選抜に出願予定の方で「出願資格」2-3 (9)により出願する方については、以下に定める書類に基づき入学資格審査を行います。

下記表の★印のついた書類は、本専攻ホームページから必要な書類をダウンロードし、使用してください。
工学専攻 <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html>

必要書類	備考
★a 入学資格審査申請書	ホームページ掲載の様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。
b 学習，活動，実務経験等の経歴書	現在までの学習歴，活動歴，実務経験等（以下「学習歴等」という。）について、具体的に自由形式で記述したものを提出してください。著書，学術論文，学術講演，学術報告，特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。なお，学習歴等については下記のような事項が考えられます。 ア 短期大学，高等専門学校等における学習歴等 イ 研究機関，教育機関，企業等における実務経験 ウ 海外における国際的団体等での活動経験等及びそれを通じて一定の語学力を有している等 エ 上記の他，各分野に関連した実務経験等 例) コンピューター・ソフトウェア制作等の実務経験

c 成績証明書及び卒業（又は修了）証明書	<p>最終学歴が短期大学，高等専門学校，専修学校，各種学校の卒業又はその他の教育施設の修了である場合は，当該卒業又は修了した短期大学長，学校長又は教育施設長が作成した原本を提出してください。また，大学学部¹に在学していた経歴のある方は，当該大学在学時の成績証明書（学長又は学部長が作成した原本）を併せて提出してください。</p> <p>（注 1）信州大学工学部に在学していた方は証明書の提出は不要です。</p> <p>（注 2）一度しか発行されない証明書（出身学校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで，以降証明書を発行していない場合や，資格証明書など）についてコピーを提出する場合は，出身学校や大使館等の公的機関で原本（²）証明を受けたものを提出してください。</p> <p>（注 3）提出する証明書が，英語（又は日本語）以外の言語で記載されている場合は，出身学校や大使館等の公的機関で翻訳証明を受けた「英語訳（又は日本語訳） - 翻訳証明付のもの」を併せて提出してください。</p>
d 返信用封筒	<p>長形 3 号（12 cm×23.5 cm）の封筒に <u>82 円分の切手を貼り</u>，郵便番号，住所及び氏名を明記してください。</p>

(2) 提出書類の受付

受付期間	平成 29 年 5 月 22 日（月） ～ 5 月 25 日（木）17 時（必着）
提出方法	<p>提出先へ持参または郵送。</p> <p>持参する場合は，9 時～17 時の間にお持ちください。郵送する場合は「書留速達郵便」（海外からは EMS）とし，封筒の表に「大学院修士課程入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。</p>
提出先	<p>信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室（信州大学工学部内） 〒380-8553 長野市若里 4-17-1 Tel:026-269-5056</p>

(3) 入学資格審査結果の通知

入学資格審査通知日	平成 29 年 6 月 2 日（金）
-----------	--------------------

4 出願手続

出願期間	平成 29 年 6 月 12 日 (月) ~ 6 月 16 日 (金) 17 時 (必着)
出願方法	提出先へ持参または郵送。 持参する場合は、9 時~17 時の間にお持ちください。 郵送する場合は「書留速達郵便」(海外からは EMS) とし、封筒の表に「大学院修士課程入学願書在中」と朱書きしてください。
提出先	信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室 (信州大学工学部内) 〒380-8553 長野市若里 4-17-1 Tel:026-269-5056

5 出願までの手順

本研究科では、募集要項・出願様式を原則としてホームページで確認いただくこととしました。志願者は出願に必要な書類 (PDF) をダウンロードし、必要事項を入力後プリントアウトしてください。

◆出願までの手順 (概略)

1. Adobe Acrobat Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。
<https://get.adobe.com/jp/reader/>
2. 本専攻ホームページから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html>
必要な書類については、本要項記載の「6 出願書類等」で確認ください。
3. 志願票・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
4. 志願票の氏名欄については、自筆で記入してください。
5. 検定料は、納付書を印刷し銀行で振込み手続きを行ってください。
6. 印刷した⑩出願用宛名用紙を市販の角形 2 号の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。
 - ・出願書類は手書きでもかまいません。
 - ・A 4 判サイズの印刷が可能なプリンタのない方、PDF が表示されない方は入試事務室へ資料請求してください。

6 出願書類等

下記表の★印のついた書類は、本専攻ホームページから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードし、使用してください。

工学専攻（工学部）ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html>

推薦			出 願 書 類 等	備 考
大学学部生	高専専攻科生	一 般		
●	●	●	★①入学志願票	指定の様式に、記入例に従い必要事項を記入してください。
●	●	●	★②受験票	出願前 3 か月以内に撮影した正面・無帽・上半身の同じ写真 (4cm×3cm)を指定欄に貼ってください。
			③履歴書	指定の様式に、記入例に従い必要事項を記入してください。
			★④志望理由書	所定の様式に学部（専攻科）における卒業研究（専攻科研究）概要及び大学院に進学する理由と大学院における研究計画を 1,000 字以内で記述してください。
該当者	該当者	該当者	⑤出願資格を証明する書類（原本） 【本学工学部を卒業又は卒業見込みの者、入学資格審査を受けた方は提出不要】	<p>卒業（見込）証明書，修了（見込）証明書，学位授与（見込）証明書等出願資格を証明できるものを提出してください。</p> <p><一般選抜></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2. 出願資格（2）」の該当者で学士の学位を授与されたものは、出身高等専門学校長または短期大学長が発行する専攻科の修了証明書及び学士の学位授与証明書（大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）が発行したもの）を添付してください。 ・「2. 出願資格（2）」の該当者で在学中のものは、在籍する高等専門学校長または短期大学長が発行する専攻科の修了見込証明書及び学士の学位を授与申請予定である旨の証明書，又は学位授与申請受理証明書（大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）が発行したもの）を添付してください。 ・「2. 出願資格（6）」の該当者は、専修学校の専門課程を修了または修了見込の旨証明する書類を提出してください。 <p><全選抜></p> <p>（注 1）一度しか発行されない証明書（出身学校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合や、資格証明書など）についてコピーを提出する場合は、証明書発行学校や大使館等の公的機関で原本（オリジナル）証明を受けたものを提出してください。</p> <p>（注 2）提出する証明書が、英語（又は日本語）以外の言語で記載されている場合は、証明書発行学校や大使館等の公的機関で翻訳証明を受けた「英語訳（又は日本語訳）－翻訳証明付のもの」を併せて提出してください。</p>

該当者	該当者	該当者	<p>⑥成績証明書 【本学工学部を卒業又は卒業見込みの者、入学資格審査を受けた方は提出不要】</p>	<p>大学等の学長、学部長が証明のうえ、厳封したものを提出してください。</p> <p>(注 1) 一度しか発行されない証明書（出身学校が修了証書や成績通知書等を修了時に一度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合や、資格証明書など）についてコピーを提出する場合は、証明書発行大学等や大使館等の公的機関で原本（オリジナル）証明を受けたものを提出してください。</p> <p>(注 2) 提出する証明書が、英語（又は日本語）以外の言語で記載されている場合は、証明書発行大学等や大使館等の公的機関で翻訳証明を受けた「英語訳（又は日本語訳）- 翻訳証明付のもの」を併せて提出してください。</p> <p>(注 3) 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。</p> <p>(注 4) 大学に編入学した者は、編入学前の教育機関の成績証明書も提出してください。</p>
●	●	●	<p>★⑦入学検定料納付確認書(A票)</p>	<p>ア. 入学検定料 30,000 円を入学検定料振込依頼書(C 票)を使用して「エ」に記載の振込期間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。</p> <p>振込みには、別途振込手数料が必要です。なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。また、ATM（現金自動預払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>イ. 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。</p> <p>また、「取扱金融機関収納印」欄に、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ、行ってください。</p> <p>ウ. 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。</p> <p>エ. 振込期間は以下のとおりです。</p> <p>平成 29 年 6 月 5 日（月）～6 月 16 日（金）</p> <p>オ. 受験時に国費外国人留学生の方は、検定料は不要です。</p> <p>本学以外の大学に在学している国費外国人留学生の方は、大学の発行する「国費外国人留学生証明書」を本書の代わりに提出してください。</p>
●	●	●	<p>受験票返送用封筒 ★⑧受験票返送用封筒ラベル 92 円切手</p>	<p>各自用意した長形 3 号（12 cm×23.5 cm）の封筒に、必要事項を記入した「⑤受験票返送用封筒ラベル」、92 円分の切手を貼ってください。</p>
●	●	●	<p>★⑨あて名票（合格通知書・入学手続き書類等送付用）</p>	<p>指定の用紙に必要事項を記入してください。</p>
●	●	●	<p>出願用封筒 ★⑩出願用宛名用紙</p>	<p>各自用意した角形 2 号（24cm×33.2cm）封筒に、必要事項を記入した宛名用紙を貼り、出願書類を入れて提出してください。</p>

該当者	該当者	該当者	<p>⑪「住民票」 住民登録をしていない方は「パスポート」のコピー</p>	<p>日本国籍を有しない方は在留資格確認のため、「住民票」(居住している市区町村長が発行したもの)を提出してください。短期滞在者や外国居住者など、住民登録をしていない方は、「パスポート」のコピー(氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分)を提出してください。</p>
●	●	—	<p>★⑫推薦書 【本学工学部卒業見込みの者は提出不要】</p>	<p>所定の様式に出身大学等の学部長、学科長が記入のうえ厳封したものを提出してください。</p>
—	—	●	<p>《試験日に持参》</p> <p>【英語】 TOEIC 公開テスト TOEIC L&R テスト TOEIC-IP テスト TOEFL-iBT テスト のいずれかの公式認定証</p>	<p>試験当日、(ア)～(エ)いずれかの原本((ウ)TOEIC-IP テストのスコアレポートを紛失した方は工学部学務係で発行した TOEIC-IP テストスコア通知票)と原本の写し(コピー)を提出してください。</p> <p>(ア) TOEIC公開テストのOfficial Score Certificate(公式認定証) (イ) TOEIC Listening & Reading TestのOfficial Score Certificate(公式認定証) (ウ) TOEIC-IPテスト(信州大学で実施したもの)のScore Report (エ) TOEFL-iBTのExaminee Score Report(受験者用控えスコア票)</p> <p>※平成26年4月以降に実施したスコアシートが有効です。 ※上記以外のTOEIC-Bridge, TOEFL-ITP等のスコアは認めません。 ※(ウ)信州大学で実施した TOEIC-IP テストスコアを利用予定で、スコアレポートを紛失した方は、信州大学工学部学務係で「TOEIC-IP テストスコア通知票」を発行します。「スコア通知票」の発行を希望する方は、下記の期日までに工学部学務係に申し出てください。 平成 29 年 6 月 16 日(金) 17 時 ※試験日に提出する原本と原本の写し(コピー)は、相違ないことを確認した後、原本のみ返却します。</p> <p>【物質化学分野, 電子情報システム工学分野, 水環境・土木工学分野, 機械システム工学分野】 試験当日、上記スコアシートの原本及び写し(コピー)を提出しなかった場合、英語の得点は0点として扱います。</p> <p>【建築学分野】 試験当日、上記スコアシートの原本及び写し(コピー)を提出しなかった場合、面接の一部を英語で行い、英語の得点とします。</p>

出願に際しての注意事項

1. 出願書類に不備があるものは、受理しません。
2. 出願書類は、研究科所定の様式に記入の際、ワープロ又はパソコンを使用しても差し支えありません。
3. 入学志願票の『希望指導教員名』欄は、以下のように記入してください。

希望する指導教員と出願前に必ず連絡を取り、希望研究分野の適合性等について、十分な打ち合わせをしたうえで、希望指導教員名を記入してください。

※建築学分野を志願する場合は、『希望指導教員名』欄の記入に際して事前の打合せを必要としません。希望する教員が確定していない場合は『希望指導教員名』欄へ「未定」と必ず記入してください。

なお、合格した場合の指導教員の決定時期等については、試験日に当該分野からお知らせします。

4. 出願手続後の書類の変更は、認めません。
5. 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。

6. 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。
なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続きについては、本学のホームページ（入試情報／大学院入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
7. 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消す場合があります。
8. 出願後、「現住所（本人受信場所）」に変更があった場合は、直ちに「4. 出願手続き」に記載の「提出先」に届け出てください。
9. 官公庁、会社等に在職している方については、在職が就学の支障とならないかどうかを審査のうえ、入学を許可します。
10. 軍人又は軍属の身分を有しながら出願及び在学することはできません。これらの経歴を有する方は、出願の際にこれらの身分を喪失したことを証明する書類の提出を求められます。
11. 同じ日に実施される選抜試験を併願することはできません。

志願者は、信州大学工学部のホームページ・総合理工学研究科のホームページ）も参照してください。

信州大学工学部

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>

信州大学大学院総合理工学研究科

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/scienceandtechnology/>

7 選抜方法・配点

推薦特別選抜（大学学部生対象）

次のとおり選抜を行います。

7-1 推薦特別選抜（大学学部生対象）

(1) 試験日時及び試験会場

推薦特別選抜(大学学部生対象)

試験日 開始時間	平成 29 年 7 月 1 日（土） 9：00 開始（8：40 集合）
試験会場	信州大学工学部（長野(工学)キャンパス） 長野県長野市若里 4-17-1 （注）受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(2) 検査方法等

推薦特別選抜(大学学部生対象)

検査方法	面接（口述試問） ・ 書類審査
配点	100

(3) 検査内容

推薦特別選抜(大学学部生対象)

分野	面接（口述試問）内容
全分野	<p><全分野> 履修した教育内容，卒業研究，大学院での研究計画等について実施します。</p> <p><機械システム工学分野> 卒業研究及び大学院での研究計画に関する試問を実施します。 詳細は機械システム工学科ホームページを参照ください。 http://www.mech.shinshu-u.ac.jp/admission/master.html 外国人に対しては日本語による試問を含みます。</p>

推薦特別選抜（高専専攻科生対象）

7-2 推薦特別選抜（高専専攻科生対象）

(1) 試験日時及び試験会場

推薦特別選抜(高専専攻科生対象)

試験日 開始時間	平成 29 年 7 月 1 日（土） 9：00 開始（8：40 集合）
試験会場	信州大学工学部（長野(工学)キャンパス） 長野県長野市若里 4-17-1 (注) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(2) 検査方法等

推薦特別選抜(高専専攻科生対象)

検査方法	面接（口述試問） ・ 書類審査
配点	100

(3) 検査内容

推薦特別選抜(高専専攻科生対象)

分野	面接（口述試問）内容
全分野	<p><全分野> 履修した教育内容，卒業研究，大学院での研究計画等について実施します。</p> <p><機械システム工学分野> 機械工学の材料力学に関する専門基礎能力，大学院での研究計画等に関する試問を実施します。 詳細は機械システム工学科ホームページを参照ください。 http://www.mech.shinshu-u.ac.jp/admission/master.html 外国人に対しては日本語による試問を含みます。</p>

一般選抜 (平成 30 年 4 月入学)

7-3 一般選抜 (平成 30 年 4 月入学)

(1) 試験日時及び試験会場

一般選抜(平成 30 年 4 月入学)

試験日 開始時間	平成 29 年 7 月 1 日 (土) 9 : 00 開始 (8 : 40 集合)
試験会場	信州大学工学部 (長野(工学)キャンパス) 長野県長野市若里 4-17-1 (注) 受験の際は, 受験票を必ず持参してください。

(2) 検査方法・配点

一般選抜(平成 30 年 4 月入学)

分野名	物質化学分野	電子情報システム 工学分野	水環境・土木工学 分野	機械システム工学 分野	建築学分野
検査方法	面接* 英語**	面接* 英語**	面接* 英語**	面接* 英語**	面接* 英語**
配点(100)	85 15	80 20	80 20	90 10	90 10

面接※=面接(口述試問)及び書類審査, 英語※※=TOEIC 又は TOEFL 等のスコアを利用

(3) 検査内容

一般選抜(平成 30 年 4 月入学)

分野名	検査方法	内 容
物質化学分野	面接 (口述試問)	専攻分野に関連した基礎的学力, 卒業研究の内容や大学院での研究計画等について口述試問を実施します。卒業研究の内容及び大学院での研究計画について 5 分間のプレゼンテーションを課しますので, プレゼンテーション資料を入れた PC 及び USB メモリを用意してください。
	英語	TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT のいずれかのスコアに基づいて評価します。評価方法は「(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法」を参照してください。
電子情報システム工学分野	面接 (口述試問)	研究分野に関連した科目についての基礎的学力, 研究計画等について実施します。外国人に対しては日本語による試問を含みます。
	英語	TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT のいずれかのスコアに基づいて評価します。評価方法は「(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法」を参照してください。

水環境・土木工学分野	面接 (口述試問)	履修した教育内容, 卒業研究, 大学院での研究計画等について実施します。
	英語	TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT のいずれかのスコアに基づいて評価します。評価方法は「(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法」を参照してください。
機械システム工学分野	面接 (口述試問)	卒業研究及び大学院での研究計画に関する試問を実施します。 詳細は機械システム工学科ホームページを参照ください http://www.mech.shinshu-u.ac.jp/admission/master.html 外国人に対しては日本語による試問を含みます。
	英語	TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT のいずれかのスコアに基づいて評価します。評価方法は「(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法」を参照してください。
建築学分野	面接 (口述試問)	履修した教育内容, 卒業研究, 大学院での研究計画等について実施します。
	英語	TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT のいずれかのスコアに基づいて評価します。評価方法は「(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法」を参照してください。

(4) TOEIC 及び TOEFL のスコア評価方法

TOEIC 及び TOEFL スコアは以下のように得点換算します。

TOEIC ・ 730 点以上の場合：換算点＝満点

・ 730 点未満の場合：換算点＝(満点)× ((TOEIC のスコア)／730)

TOEFL ① TOEFL-iBT のスコアを TOEFL 「Score Comparison Table」に基づき, TOEFL-PBT のスコアに換算します。

② TOEFL-PBT のスコアを以下の計算式にて TOEIC スコアに換算後, TOEIC のスコアと同様の方法で点数に換算します。

$$(\text{TOEIC のスコア}) = ((\text{TOEFL-PBT のスコア}) - 296) \times 2.874$$

TOEFL-iBT ・ TOEIC 公開スコア両方をお持ちの方は下記の表を参考にしてください。

TOEFL スコア換算早見表 (上記 TOEFL①②に基づき計算)

TOEFL-iBT	TOEIC	TOEFL-iBT	TOEIC	TOEFL-iBT	TOEIC	TOEFL-iBT	TOEIC	TOEFL-iBT	TOEIC
79 以上	730	62-63	595	48	471	34	332	21	164
77-78	721	61	586	47	463	33	319	19-20	151
76	706	59-60	578	45-46	447	32	303	18	131
74-75	693	58	566	44	434	30-31	290	17	112
72-73	681	57	553	43	422	29	274	16	98
71	668	56	537	41-42	410	28	262	15	83
69-70	652	54-55	529	40	394	26-27	246	14	65
68	644	53	520	39	385	25	233	13	49
66-67	635	52	504	38	371	24	217	0-12	40
65	624	51	491	36-37	356	23	198		
64	611	49-50	480	35	348	22	180		

8 合格者発表

全選抜共通

発表日時	平成 29 年 7 月 11 日 (火) 16 : 00
------	------------------------------

信州大学工学部公用掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を発送し公式発表とします。

また、信州大学工学部ホームページ(大学院入試)にも速報掲載しますが、必ず公式発表を確認してください。
なお、電話やメール等による合否の問い合わせには応じられません。

信州大学工学部ホームページ：<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/admission/master.html>

9 入学確約書の提出

一般選抜

一般選抜試験の合格者は、以下の期日までに、「入学確約書」(用紙は合格通知書に同封します。)を提出してください。

平成 29 年 9 月 8 日 (金) 17 時

「入学確約書」を提出しない方は、本研究科に入学の意志がないものとして取り扱います。

※入学手続に必要な書類については、入学確約書を提出した方に対して平成 30 年 2 月上旬に改めて送付します。

10 入学手続及び納付金

全選抜共通

合格者は、入学手続期間内に入学料を納入するとともに、持参又は郵送により入学に必要な書類を提出してください。

(1) 入学手続期間

平成 30 年 3 月 1 日 (木) から 9 日 (金) 17 時 まで

入学手続書類を持参する場合の受付時間は 9 時～17 時の間にお持ちください。

(2) 入学手続場所

「4 出願手続」に記載の「書類提出先」と同じです。

郵送にて提出する場合は、3 月 9 日(金)までに必着とします。

手続書類を郵送する場合は不足の書類や記入漏れがないよう再度ご確認ください。

(3) 納付金の納入等

① 納付金(入学料・授業料)の額

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料 (前期) 267,900 円 (後期) 267,900 円

ただし、国費留学生の方は不要です。

※金額は平成 29 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時にお知らせします。

② 納付された入学料は、いかなる理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)がありますので、希望される方は、入学手続書類に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類を熟読のうえ希望指導教員が所属するキャンパスの大学院担当事務に願い出てください。

(4) 入学手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領後、期間内になるべく早く入学手続を行ってください。
- ② 入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

11 長期履修制度（社会人学生対象）

総合理工学研究科では、働きながら学ぶ大学院生の修学を助成するために長期履修学生制度を設けています。本制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)で教育課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修をあらかじめ認めるものです。長期履修を許可された学生は原則として2年間の授業料で履修許可期間の修学が可能となります。

入学手続書類に申請方法等を案内しますので、希望者は申し出てください。

12 障害等のある方の事前相談

全選抜共通

この募集要項により入学を志願する方で、障害〔別表参照〕等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、希望指導教員の確認を得て下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の形式は問いませんが、本学のホームページ（入試情報／大学院入試／障害等のある方の事前相談）から申込様式をダウンロードいただけます。（<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>）

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

（1）提出期限 平成 29 年 5 月 25 日（木）まで

（2）書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願する分野名と選抜区分
- ④ 希望する指導教員名
- ⑤ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑥ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑦ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑧ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮
- ⑨ 日常生活の状況

（3）提出先及び問い合わせ先

信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室（信州大学工学部内）
〒380-8553 長野市若里 4-17-1 Tel:026-269-5056

（4）提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

〔別 表〕

区 分	障害の程度
視覚障害	良い方の目の矯正視力が 0.15 以下のもの、両眼による視野について視能率による損傷率が 90%以上のもの、その他視覚に関する配慮を必要とするもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症スペクトラム障害、自閉症、アスペルガー障害、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害等のために配慮を必要とするもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

13 その他

(1) 修了の認定及び学位

本研究科修士課程に入学後、2年以上在学し、専攻の所定科目について30単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した方には、修士の学位が授与されます。

専攻名	授与される学位
工学専攻	修士(工学)

(2) 奨学金

日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する方は、選考のうえ、奨学生に採用されます。

(3) お問い合わせ

入学試験に関する照会は、「4 出願手続」に記載の「提出先」にお問い合わせください。